

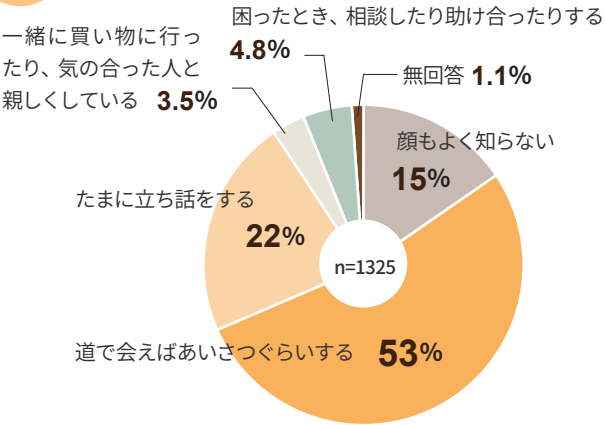
令和元年度 中区区民意識調査（令和元年 7 月～ 8 月実施）結果からみえてきたこと

区政に対する評価やニーズを区内に居住する 4000 人（内外国籍 500 人）に聴き 1325 件の回答を得ました。

区民の地域への想い・地域活動への参画に関する意識

- ①中区の住民、働く人は中区への愛着がある
- ②自分を健康であると感じている人が多い
- ③地域活動に現在は参加できないが関心はある
- ④自分の都合や時間に合わせた、気軽にできる活動ならば参加したいと思っている

隣近所と普段どのような付き合いをしていますか

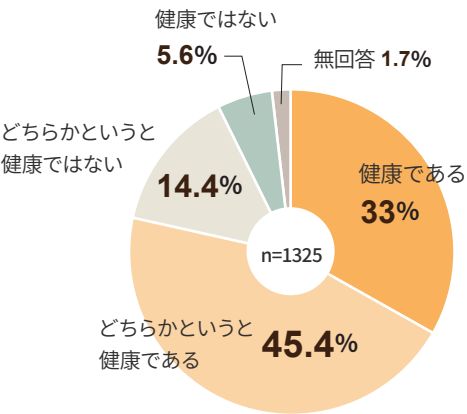


- ・「道で会えばあいさつぐらいする」が半数以上
- ・「たまに立ち話をする」が 22%
- ・「顔もよく知らない」が 15%

今後、改善していく必要があること

- ①隣近所と話したり交流するなどの地域との関係性
- ②災害時の共助、困りごとに気づく見守りや相談体制づくり

この1か月間のご自身の健康状態をどう感じていますか



- ・自分が健康だと思う「主観的健康観」は、その人の健康に大きく影響すると言われています
- ・8割近くの人が自身を健康と感じています
- ・「健康である」は男性の方が女性よりやや高い傾向

第 4 期 「中なかいいネ！」に向けてのグループインタビュー（令和元年 11 月～ 12 月実施）の声から

第 4 期計画の策定に向けて、4 つのグループに分けてグループインタビューを実施しました。

●地域役員とボランティア団体グループ ●支援の狭間に陥る人や世帯を支える活動グループ（障害児者、外国人、認知症・不登校などにかかわる方々） ●福祉・医療サービス事業や相談員グループ ●暮らしを支える企業や商店グループ（商店街、スーパー、郵便局、新聞店、学習塾など）総勢 43 名の皆さんのご意見を伺いました。

- ・「中なかいいネ！」は親しみやすいネーミングだし、えんづくり・元気づくりも納得のスローガン。区民に浸透してきた。
- ・区域計画・地区計画があったからこそ、地域住民のつながりが生まれ、サロンや健康づくり活動等地域活発になった。
- ・中区に多様な愛着を持つ住民、働く人や組織があり「地域への関心」が活動の原動力になっている。
- ・地域での暮らしに困難を抱えている人がいて何とかしたい。
- ・自分たちの活動が計画と関係していると考えていなかった。
- ・生活の困りごとに対していろいろな立場の人や団体が活動していることに気づいた。
- ・計画をきっかけにして、外国人との多文化共生をすすめたり、障害者の理解の啓発・社会教育ができたら良い。
- ・支援する側だけでなく、高齢者、障害者、介護者などの当事者も計画に参画できる仕組みがほしい。
- ・計画については知らなかったが、企業も商店も何かしら地域に役立ちたいと考えている。

第 1 期計画(平成 18 年)から 15 年が経過しました。暮らしの安心や幸せは誰もが願っています。“つながりがあること”元なこと”は、今日の社会で生きる私たちにとって欠くことのできないもの。そして、それを実現するための土台には”人財・交流・情報”を生み出していく必要があります。第 4 期中なかいいネ！は、これら 3 期までの取り組みを継続しつつ、区内のそこそこで、主体的に、しかし気軽に対話し、学びつつ、もっとみんなの「中なかいいネ！」を目指しましょう。

The 4th regional welfare plan

第 4 期 中区地域福祉保健計画

「中なかいいネ！」
骨子

「中なかいいネ！」10 年の振り返り

第 1 期

平成 18 年～ 22 年度

まちの姿をみつめて

地域福祉保健計画って何？から、まちの良いところ・困っているところを話し合い、めざすまちにするためにはどんな取り組みをしたら良いのか各地域や区全体会議、「中なかいいネ！発表会」で模索し活動を広げました。

第 2 期

平成 23 年～ 27 年度

見守り支え合いの空気が醸成

中なかいいネ！委員会（地域福祉保健計画策定・推進委員会）や各地区での話し合い、区民の方々からの意見・提案によって、基本的視点に加えて、2 つの重要テーマと 7 つの取り組みを定めました。

第 3 期

平成 28 年～令和 2 年度

見守り力と健康づくりの 2 本の柱と土台作り

計画推進の 2本の柱

中なかいいネ！で “えん” 結び

中なかいいネ！で 元気いっぱい

第 3 期計画策定にあたり、中区の現状分析、課題抽出を行い、今後、中区としてどんな社会をめざすのか検討しました。そのうえで、中ながめざす社会の姿を現し、更に、推進する上での 2 本の柱と 3 つの土台作りを定め、計画推進を目指しました。

NAKA NAKA IINE !

「中なかいいネ！」とは？

地域の人々がお互いに支え合い助け合いながら、誰もが住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らしていけるようなまちづくりを目指して、中区に住む人、働く人、すべての人が協力しながら進めていく計画です。



第 4 期

令和 3 年度～令和 7 年度

「中なかいいネ！」を
もっとみんなで、もっとみんなの計画に

中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」は、令和 3 年度から、いよいよ第 4 期計画となります。歴史や文化、多文化共生を目指す風土、地域に愛着を持つ多くの区民など、誇れる価値を有する中区の未来に向けて、一層、区全体で力を合わせて地域の福祉を推進していきましょう。

第4期「中なかいいネ！」計画の推進（骨子）

中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」は、令和3年度から、いよいよ第4期計画となります。歴史や文化、多文化共生を目指す風土、地域に愛着を持つ多くの区民など、誇れる価値を有する中区の未来に向けて、一層、区全体で力を合わせて地域の福祉を推進していきましょう。

ここが大事

「中なかいいネ！」をもっとみんなで、もっとみんなの計画に

地域福祉保健計画「中なかいいネ！」は、区民による、区民のためのものです。こんなまちだったら安心こんなまちだったら、もっと暮らしやすい。区民ひとりひとりのそんな想いを「中なかいいネ！」にもっと反映し、区民が一丸となって実現に向けて確実に歩みを進める計画にしましょう。

みえてきたこと

「中なかいいネ！」推進状況について、多様な人や団体にグループインタビューをおこなったところ、計画を知らない人がたくさんいることがわかってきました。こんな人が、こんな風に関われたらいいネ！という意見が集まりました。



Voice

- 子ども・障害者・高齢者・外国籍の人、子育て家族、家族介護者等、当事者の声を計画に活かしたい。
- 福祉関係者に限らず、医療・教育・文化・商業等々、さまざまな専門職・関係者と対話し、協働したい。
- 区民が集まる場合は、計画への参画のチャンス！要望を伝えるもよし。活動協力もよし。想い想いの参画OKに。
- 困っている人を支えることは「中なかいいネ！」の大切な取り組み。でも、「えん結び」と「元気づくり」でも支えられるね。
- 地域のお祭りやイベントなども、計画とつながっている。みんな「中なかいいネ！」を推進する仲間になれたらいいな。

そのために

まちのこと暮らしのことを「話す」×「学ぶ」を活発に

地域福祉保健計画「中なかいいネ！」は、私たちの暮らしに生きるものでなくては意味がありません。人生100年時代！変化し続ける社会に私たちは生きています。話し合しましょう。学び合しましょう。仲間を広げ、目指す方向や、果敢な方法を、皆で見出しましょう。

みえてきたこと

グループインタビューで、「対話」をしたら、お互いのことも地域のことも知らないことがたくさんあることに気づきました。また、私たちを支える仕組みや制度も学ぶ場が少ないことがわかってきました！話しましょう！学びましょう！



Voice

- 困りごとを抱える人、抱えていても助けを求めにくい人が地域に増えている？決して他人事ではないことを知らなくちゃ。
- まちを元気にするための方法について、アイデアを出し合いたい！効果的な活動教えて欲しい！
- 介護保険制度を始め、暮らしを支える制度のこと。いまさら聞けないなんて思わず、みんなで学んで、効果的に利用したい。
- 区民みんなのより良い暮らしの実現を目指して、対話×学ぶを区全体で、各地区で、子どもから高齢者までやりたいな。

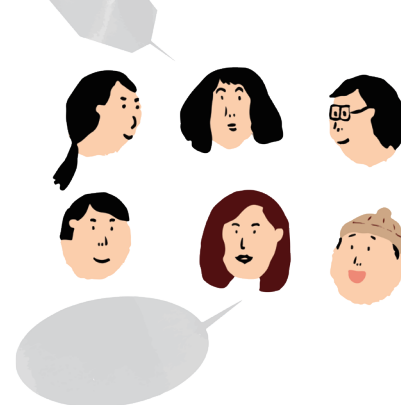
長期目標

夢をもって目指そう！多様性と歴史ある中区独自の共生社会の構築を

地域福祉保健計画「中なかいいネ！」は、中区の計画です。中区は歴史や文化のあるまち。多くの区民が、まちに愛着をもっています。それは大きな財産です。将来も、中区のすばらしさを維持できるよう、そこに暮らす皆の安心が守れますよう夢をもって取り組みましょう。

みえてきたこと

区民意識調査でも、グループインタビューでも、各種会議でも、中区には、「中区が大好きな人がたくさんいる」ことがわかります。課題ばかり捉えるのではなく、地域が好きだからその取り組みを進めていきましょう。



Voice

- 対象や分野の縦割りを乗り越えて、中区の魅力を継承しつつ、皆が豊かに暮らす中区を最終目標にしよう
- 区全域と各地区のつながり、包括的な区民の捉え方、分野の協働を進め、効果的な取り組みにつなげよう！

こんな中区を目指そう！「中なかいいネ！」の取り組みの体系

長期の目標

区全体 地区別

多様性と歴史ある中区らしさを大切にした共生社会の構築

子ども・障害者・高齢者・外国人
みんなが安心して活き活きと暮らす
中区の実現が最終ゴール！



5年後の目標

区全体 地区別

もっとみんなの「中なかいいネ！」に

子どもから高齢者、区民も専門職も福祉・医療・保健・教育・環境、商店・企業
みんなで検討・みんなで行動



地区別

計画推進の”2本の柱”

中なかいいネ！で“えん”結び

中なかいいネ！で元気いっぱい

「えん結び」と「元気いっぱい！」工夫を凝らして、小地域で、人のつながりと元気を生み出そう！



区全体

取り組みを支える“3つの土台づくり”

人財

交流

情報

土台作りを更に地域で強化しよう！
まだまだ、「中なかいいネ！」と一緒に進める人がいるはず！つながりをもとめている人も情報を求めている人もたくさんいます！



区全体 地区別

対話の場づくり

学びの場づくり



より良い地域づくりのために、みんなの想いを共有・意見を出し合いましょう。また変化する社会の今を知り、私たちの活動のヒントを得る学び合う場を創りましょう！活用しましょう！

3期を土台に

計画推進の2本の柱

中なかいいネ！で“えん”結び

中なかいいネ！で元気いっぱい

中なかいいネ！で“えん”結び

地域の見守り力を高めていくために、“えん”結びの取組を進めました。



えん 緑

地域の人が顔見知りになり結びつき

えん 円

つながりが広がって輪になって

えん 援

いざとなった時にも支援の手が確実に届くよう取り組む

中なかいいネ！で元気いっぱい

区民の「健康づくり」につながるよう、元気いっぱいの取組を進めました。



健康なからだ

生活習慣病を予防し健康寿命を延ばします

健康なこころ

誰もが心穏やかに暮らせるまちを目指します

健康なまち

誰もが安心して暮らせるまちを目指します

中区地域福祉保健計画のネーミング 中なかいいネ！

計画推進の2本の柱“えん”結びと元気いっぱい皆に親しまれています引き続き推進していきましょう！！